

第 25 期 決 算 公 告

2024 年 6 月 28 日

東京都千代田区飯田橋一丁目 5 番 10 号

株式会社ディマージシア

代表取締役 大 内 慎

貸 借 対 照 表

(2024 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	652,714	流 動 負 債	479,492
現金及び預金	335,124	買 掛 金	92,869
売掛金及び契約資産	289,396	短 期 借 入 金	170,000
仕 掛 品	836	1年内返済予定の長期借入金	76,712
貯 蔵 品	156	未 払 金	104,549
前 払 費 用	15,128	未 払 費 用	1,077
そ の 他	12,071	未 払 法 人 税 等	8,912
固 定 資 産	211,254	預 り 金	9,772
有形固定資産	7,134	前 受 収 益	14,938
建物附属設備	6,542	受注損失引当金	661
工具、器具及び備品	591	固 定 負 債	95,531
無形固定資産	152,999	長 期 借 入 金	27,355
の れ ん	59	資 産 除 去 債 務	13,176
顧客関連資産	152,940	長 期 未 払 金	55,000
投資その他の資産	51,119	負 債 合 計	575,024
関係会社株式	3,044	(純資産の部)	
長期前払費用	1,791	株 主 資 本	288,944
長期貸付金	7,000	資 本 金	64,800
差入保証金	35,074	資 本 剰 余 金	15,300
繰延税金資産	4,208	資 本 準 備 金	15,300
		利 益 剰 余 金	208,844
		その他利益剰余金	208,844
		繰越利益剰余金	208,844
資 産 合 計	863,968	純 資 産 合 計	288,944
		負 債 純 資 産 合 計	863,968

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式 移動平均法による原価法を採用しております。

② 棚卸資産

個別法による原価法（貸借対照表表示価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

当社では定率法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物附属設備 8年～15年
工具、器具及び備品 4年～8年

無形固定資産

定額法によっております。
なお、主な耐用年数は以下の通りであります。
顧客関連資産 5年

(3) 収益及び費用の計上基準

請負契約に係る収益は、当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約についてはインプット法に基づき、一定の期間にわたり収益を認識しております。契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い場合等は、サービス提供が完了した時点において収益を認識しております。

保守契約に係る収益は、主にサービスの保守であり、顧客との保守契約に基づいて保守サービスを提供する履行義務を負っており、当該保守契約は、契約期間に準じた役務提供を一定の期間にわたり履行義務を充足する取引であり、履行義務の充足の進捗度に応じて一定の期間にわたり収益を認識しております。

準委任契約に係る収益は、主にシステムエンジニアリングサービスであり、顧客との準委任契約に基づいてシステムエンジニアリングサービスを提供する履行義務を負っており、当該準委任契約は、稼働に応じた役務提供を一定の期間にわたり履行義務を充足する取引であり、履行義務の充足の進捗度に応じて一定の期間にわたり収益を認識しております。

(4) のれんの償却方法及び償却期間

のれんは、その効果の発現する期間で均等償却しております。

(5) 引当金の計上基準

受注損失引当金については、請負契約に係る損失に備えるため、将来の損失が見込まれ、その損失が合理的に見積もることができるものについて、翌連結会計年度以降の損失見込額を計上しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 39,527 千円

(2) 関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。

① 長期貸付金	7,000 千円
② 買掛金	4,057 千円
③ 未払金	5,499 千円

(3) 当座貸越契約

資金調達の安定性を高めるため、取引金融機関との当座貸越契約を締結しております。規約に基づく当連結会計年度末における借入未実行残高等は次のとおりであります。

当座貸越限度額	180,000 千円
借入実行残高	155,000 千円
差引額	<u>25,000 千円</u>

(4) 国庫補助金等による圧縮記帳額は次の通りであります。

建物附属設備	20,422 千円
工具、器具及び備品	8,496 千円

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

未払事業税	1,566 千円
資産除去債務	4,427 千円
売上原価否認	36,691 千円
受注損失引当金	222 千円
その他	19 千円

繰延税金資産小計 42,926 千円

評価性引当額 △4,446 千円

繰延税金資産合計 38,480 千円

繰延税金負債

資産除去債務	△1,654 千円
売上高否認	△32,617 千円

繰延税金負債合計 △34,271 千円

繰延税金資産の純額 4,208 千円

4. 関連当事者との取引に関する注記

子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
子会社	DIMAG E SHARE VIETNAM CO.,LTD.	所有 直接 100%	資金の貸付、開発業務の一部委託	資金の貸付(注)	7,000	長期貸付金	7,000
				利息の受取	70	-	-

(注) 資金の貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額	290 円 40 銭
(2) 1株当たりの当期純利益	31 円 89 銭

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。